

大東京焼跡畧

震災復興百年の大計を 考えるシンポジウム

(東京ルネサンス)

拓殖大学「開発と復興の軌跡 後藤新平プロジェクト」

Tokyo Renaissance

入場無料
事前申込制

報告者・パネリスト

- | | |
|------|--------------------|
| 渡辺利夫 | 拓殖大学顧問 |
| 春山明哲 | 早稲田大学台湾研究所招聘研究員 |
| 長谷部茂 | 拓殖大学拓殖アーカイブズ事業室主幹 |
| 伏見岳人 | 東北大学法学部教授 |
| 平崎真右 | 拓殖大学国際日本文化研究所客員研究員 |
| 陳雲蓮 | 群馬大学講師 |
| 中村淑子 | 後藤新平記念館学芸調査員 |

とき 2023年9月30日(土)
13:00~16:30

ところ 拓殖大学文京キャンパスE館1F
後藤新平・新渡戸稲造記念講堂



震災復興構想を練る後藤新平

拓殖大学「開発と復興の軌跡 後藤新平プロジェクト」 震災復興百年の大計を考えるシンポジウム

(東京ルネサンス)

I 報告



渡辺 利夫

拓殖大学顧問
後藤新平思想原論
—後藤精神をいかに次の世代に引き継ぐか？



春山 明哲

早稲田大学台湾研究所招聘研究員
帝都復興案概要
—震災復興＝東京のルネサンスとした後藤の発想



長谷部 茂

拓殖大学拓殖アーカイブズ事業室主幹
震災時市長・拓殖大学第4代学長
永田秀次郎の果たした役割



伏見 岳人

東北大学法学部教授
震災復興から台湾開発へ—松木幹一郎の軌跡より



平崎 真右

拓殖大学国際日本文化研究所客員研究員
震災復興と拓殖大学「後藤人脈」
—下村宏・十河信二を中心に



陳 雲蓮

群馬大学講師
後藤新平の関わった港湾復興事業
—関東大震災における横浜港の被災と復興を考える



中村 淑子

後藤新平記念館学芸調査員
後藤新平の帝都復興構想を語る資料群



拓殖大学文京キャンパスA館 代表的な「復興建築」の一つ。
1932(昭和7)年1月竣工

II パネルディスカッション・質疑応答

司会者：長谷部 茂 拓殖大学拓殖アーカイブズ事業室主幹

パネラー：渡辺 利夫 拓殖大学顧問

春山 明哲 早稲田大学台湾研究所招聘研究員

伏見 岳人 東北大学法学部教授

平崎 真右 拓殖大学国際日本文化研究所客員研究員

陳 雲蓮 群馬大学講師

中村 淑子 後藤新平記念館学芸調査員

入場無料・事前申込制

シンポジウムの
参加申し込みは
右記QRコードから



<https://forms.gle/7fZeKDaUFnyjRu3N7>



文京キャンパス
後藤新平 新渡戸稲造記念講堂前の後藤、新渡戸胸像

パネル展示

震災復興(東京ルネサンス)
百年の大計を考える展示会

とき：2023年9月19日(火)～10月7日(土)
10:00～17:00

ところ：拓殖大学文京キャンパスE館1Fホワイエ